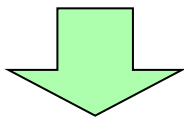


久留米市中心市街地活性化基本計画 (計画期間 平成20年5月～26年3月) ※ 期間延長適用後

【中心市街地を巡る状況】

- 久留米餅やゴム産業を中心とした商工業都市として発展
- 西鉄天神大牟田線(天神まで30分)、JR鹿児島本線、久大本線、新幹線(H23開業予定)(博多まで15分)が結節する県南の拠点都市
- 中心市街地及びその周辺には高度医療機関(1人当たりのベッド数全国有数)や大学、短大等が集積
- 郊外型大規模商業施設の相次ぐ立地や福岡都市圏への商業の一極集中などの影響を受け、中心市街地の商業の求心力が低下



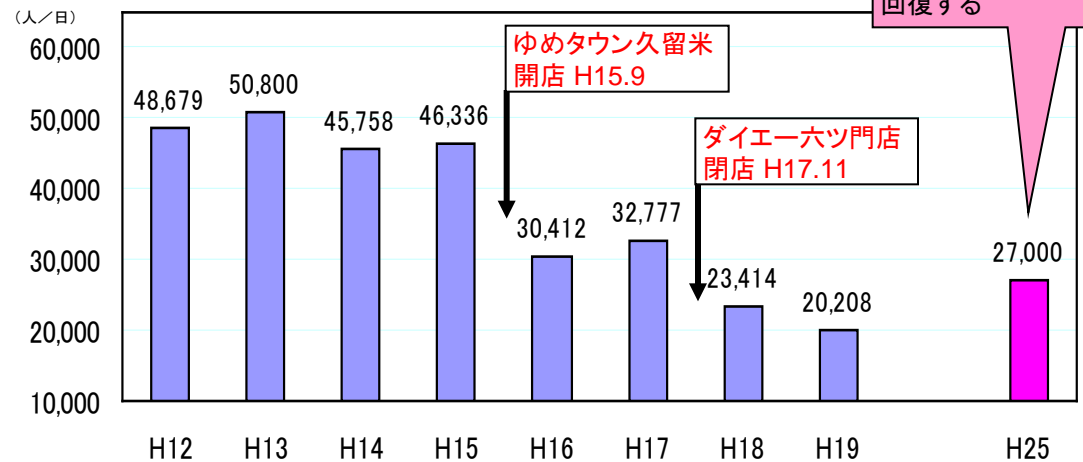
- 歩行者・自転車通行量(休日)の減少
H15:46,336人 → H19:20,208人(56.4%減)
- 中心市街地の空き店舗数(空き店舗率)が増加
H14:31店舗(7.5%) → H19:81店舗(21.3%)

【目標】

目標	指標	現況値(H19)	目標値(H25)
市民活動などを通じて賑わう街	歩行者自転車通行量(休日)(5地点)	20,206人/日	27,000人/日
多様なサービスが受けられる利便性高い街	空き店舗率	21.3%	15.0%
	サービス・飲食業のシェア	33.8%	40%
便利な生活環境のもとで住み続けたい街	居住人口	12,735人	14,500人

(歩行者・自転車通行量(休日)の推移)

商業が集積する5調査地点の合計(毎年7月最終日曜日に調査実施)



高齢者などが元気に歩いて暮らし、豊かな時間や生活を過ごせる街がすべての人に優しい街であることから『人に優しいスローライフが輝く街』づくりを目指す。

久留米市中心市街地活性化基本計画の事業概要

市民活動による賑わいのある街

○中心商店街の賑わい、回遊性の向上、さらには来街促進を目的として、六角堂広場および西鉄久留米駅東口広場を活用した、商店街や市民活動団体等による市民イベント等の開催を支援する。



六角堂広場



西鉄久留米駅東口広場

○地域資源を活用した「B級グルメの聖地(まち)事業」や商店街等が実施する「中心市街地活性化推進イベント事業」による日常的な賑わいづくりに努める。



B級グルメ



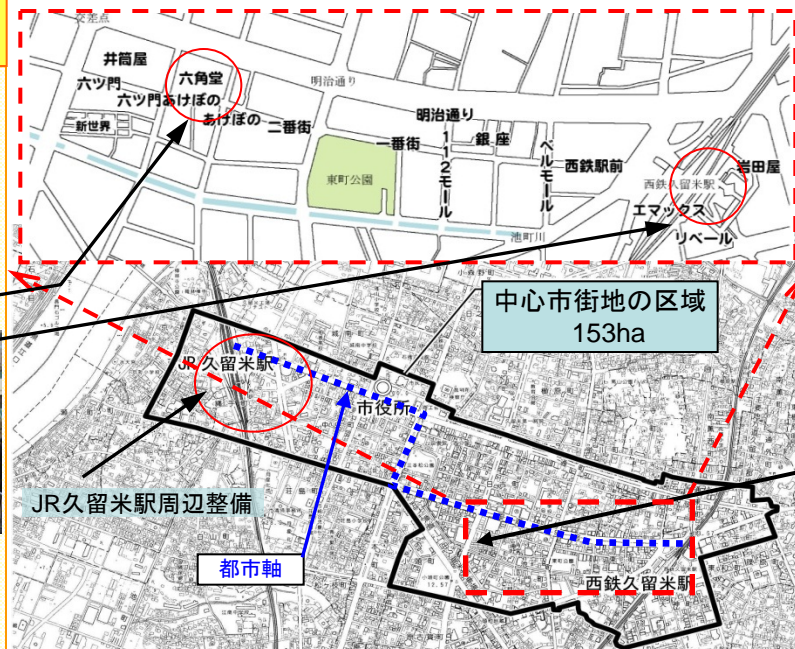
土曜夜市

○多様な世代における地域住民をはじめとした交流、生涯学習の推進

- ・坂本繁二郎生家保存整備事業
- ・老人いこいの家整備事業

○地元大学と連携した健康相談

- ・街の駅整備事業



中心市街地の区域
153ha

便利な生活環境のもとで住み続けたい街

○新幹線開業に向けてJR久留米駅周辺整備(駅広、自由通路等)

○多様な世代に対応した優良共同住宅の供給

- ・JR久留米駅前再開発(270戸)
- ・新世界地区再開発(162戸)
- ・県住宅公社建替(80戸)等

○中心市街地内での民間住宅建設を誘導し、街なか居住を推進する為に、既存容積率特例制度を創設する。

○近隣住民の憩い、市民の賑わい施設として東町公園の再整備を実施

○近隣住民をはじめ、市民が街なかを回遊・集える空間を創出するために、池町川両岸歩道の緑化整備を実施



JR久留米駅周辺整備



JR久留米駅前再開発



新世界地区再開発

多様なサービスが受けられる 利便性高い街

○移動制約者の中心商店街への来街(外出)支援と買物支援や電動カート、車椅子、ベビーカー等の貸し出し等を行うタウンモビリティ事業の推進



タウンモビリティ事業

○ダイエー六ツ門店の撤退により空きビルとなっている旧六ツ門プラザビルへのにぎわい交流施設・公益施設、商業施設の導入



旧六ツ門プラザビル

○市内5大学等による共同講義(単位互換)、市民開講座の共同実施を行う。

○冬季の魅力づくりとして、西鉄久留米駅から六ツ門地区までのイルミネーションに取り組む。



市民公開講座



イルミネーション

○中心商店街の空き店舗の解消を推進するとともに、市民や来街者のニーズをとらえた、多様で魅力ある商業サービスの提供に努める。

- ・中心市街地商店街空き店舗対策事業
- ・中心市街地商業活性化助言事業
- ・中心市街地活性化協議会マネジメント事業